

タモ網調査結果の概要

調査の目的：水生生物に関する調査は、投網による魚類調査を主に実施してきたが、投網による調査では捕らえきれない当年魚等の小さい個体や底生生物を調査する目的により、タモ網等による調査を平成 22 年度から実施した。本年は 2 回目の調査である

調査地点：余笹川 3 地点、黒川 1 地点の 4 地点で実施した。

St.1：ふれあい公園（余笹川）

St.2：下余笹橋（余笹川）

St.3：石堀子橋（余笹川）

St.5：豊富橋（黒川）

調査方法：タモ網、サデ網を主な採捕用具とし、環境別（瀬、淵、水際など）に採捕を行った。採捕した個体は、現地で種の同定、個体数の計数、体長の計測、写真撮影等を行った後、速やかに放流した。

調査結果：4 地点で調査を行った結果 7 種の魚類と 15 種の底生生物及び 1 種の両生類を確認した。魚類では 7 種の出現種のうち重要な種がタナゴ、アカヒレタビラ、シマドジョウ、ギバチの 4 種が確認できた。両生類ではツチガエルが確認できた。

余笹川タモ網班調査結果

目名 / 科名	種名	St.1 ふれあい公園		St.2 下余笹橋		St.3 石堀子橋		St.5 豊富橋		備考
		H22	H24	H22	H24	H22	H24	H22	H24	
コイ科	タナゴ	3		1		1		1	2	栃木県：絶滅危惧類 環境省：絶滅危惧 B 類
	アカヒレタビラ								1	栃木県：絶滅危惧類 環境省：絶滅危惧 B 類
	カワムツ	21		1						
	オイカワ		7		11		13		4	
	タモロコ		1				1		1	
ドジョウ科	ドジョウ	1						12	1	
	シマドジョウ	1		2	1		1			栃木県：準絶滅危惧種 環境省：-
	ホトケドジョウ	1						1		栃木県：絶滅危惧類 環境省：絶滅危惧 B 類
ギギ科	ギバチ	2					2	3		栃木県：準絶滅危惧種 環境省：絶滅危惧類
貝類	カワニナ	2		1						
	マルタニシ		1						1	
	モノアラガイ							1		
甲殻類	ヌカエビ	7		1						
	サワガニ				1					
カゲロウ目	ヒラタカゲロウ		4	1	5		6		1	
	モンカゲロウ		1	1			1			
	コカゲロウ				1					
	チラカゲロウ		3	1			3			
トンボ目	カワトンボ			2			1	3		
	コオニヤンマ	2	3	4	2	16	4	9	2	
	コヤマトンボ		1			2	2	3	2	
	サナエトンボの一種	12	2	7	8	1	14	5	5	
カワゲラ目	カワゲラ		3				1			
トビゲラ目	ヒゲナガカワトビゲラ	1	5	2	5	5	3	1	2	
	カワトビゲラ			1						
	シマトビゲラ		2		1		2			
	ニンギョウトビゲラ		2	1					1	
カメムシ目	マツモムシ	1								
コウチュウ目	ドコムシ	1		1		1				
カエル目	ツチガエル(成体)			1			5	1		栃木県：絶滅危惧類 環境省：-
	ツチガエル(幼体)							1		

は重要な種を示す

H22：平成22年8月28日調査

H24：平成24年8月25日調査



写真1 St.1 ふれあい公園付近調査状況



写真2 St.2：下余笹橋付近調査状況



写真3 St.3：石堀子橋付近調査状況



写真4 St.5：豊富橋付近調査状況



写真5 タナゴ



写真6 アカヒレタビラ



写真7 タモロコ



写真8 シマドジョウ



写真9 トウヨシノボリ



写真10 コオニヤンマ



写真11 コヤマトンボ



写真12 ヒゲナガカワトビゲラ



写真13 チラカゲロウ



写真14 ヒラタガエロウ



写真15 カワゲラ



写真16 ツチガエル